



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社スズケン

上場取引所 東名札

コード番号 9987 URL <https://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 浩美

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理部長 (氏名) 野原 正伸

TEL 052- 961- 2331

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,114,261	8.0	14,995	61.6	19,554	42.0	13,198	43.1
2019年3月期第2四半期	1,031,762	1.4	9,280	48.6	13,773	27.6	9,225	29.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 9,715百万円 (56.1%) 2019年3月期第2四半期 22,146百万円 (128.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	144.60	
2019年3月期第2四半期	97.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,113,001	407,627	36.5
2019年3月期	1,189,238	401,625	33.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 406,749百万円 2019年3月期 400,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		27.00		42.00	69.00
2020年3月期		32.00			
2020年3月期(予想)				32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当32円00銭 記念配当10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,133,000	0.0	24,600	9.7	32,900	9.0	21,600	28.5	236.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	103,344,083 株	2019年3月期	103,344,083 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	12,052,381 株	2019年3月期	12,071,899 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	91,279,346 株	2019年3月期2Q	94,697,950 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等、先行き不透明な状況であります。

当社グループは、2020年3月期を最終年度とする3ヵ年の中期成長戦略「One Suzuken 2019」の実現に向けて、お得意さまの真のニーズの追求と対応、多様な企業との協業による新たな機能やビジネスモデルの構築、さらに、低コスト経営の実現により更なる企業価値向上を目指しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引続き、希少疾病薬や再生医療等製品を含むスペシャリティ医薬品の流通モデル構築、およびMS（※1）の活動による新たな収益モデル構築に向け、多様な企業との協業を進め、「取引」から「取組」によるフィー獲得モデルへの転換を進めております。

具体的には、スペシャリティ医薬品トレーサビリティシステムである「キュービックス」において、さらなる協業を進めることで、流通品質の向上などを図り、全国の地域中核病院などへ導入を推進しております。

また、再生医療等製品の流通モデルの構築については、当社グループの医療流通プラットフォームの機能、インフラ整備をもとに、ノバルティスファーマ㈱のCAR-T細胞療法「キムリア」（※2）の日本国内における流通受託に続き、サンバイオ㈱の再生細胞薬の流通に関する基本契約を締結するとともに患者サポートシステム「R-SATシステム」を共同開発することで合意しております。当社グループは、厳格な温度管理と確実なトレーサビリティを確保しつつ、再生医療等製品を流通させる医療流通プラットフォームの構築を推進しております。

さらに、新たな医療情報プラットフォームの構築や新たなソリューションを提供するために、Dr. JOY㈱と資本業務提携を行い、両社共同の取組みによって、革新的なサービスや情報ビジネスを推進し、製薬企業や医療機関、保険薬局、患者さまへの新たな価値の提供を目指しております。

なお、当社グループは、安定的な配当の継続を基本に、連結配当性向30%を目処として配当を実施するとともに、2019年3月期から中期成長戦略「One Suzuken 2019」の最終年度である2020年3月期までの2年間平均総還元性向80%以上を目処として自己株式の取得を実施することにより、株主還元の充実を図るとともに、企業価値と資本効率の向上を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1兆1,142億61百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は149億95百万円（前年同期比61.6%増）、経常利益は195億54百万円（前年同期比42.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は131億98百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

※1 MS (Marketing Specialist)

：医薬品卸売業の営業担当者のごこと。医療機関・保険薬局等を訪問し、医薬品の紹介、商談、情報の提供や収集を行う

※2 CAR-T細胞療法「キムリア」

：CAR-T細胞療法は、患者の末梢血から採取したT細胞に、遺伝子導入により、CD19抗原を認識して攻撃するCAR（キメラ抗原受容体）を発現させ、点滴で患者の体内に戻すことで投与される画期的な免疫療法です。「キムリア」は、2019年3月26日に、「再発・難治性CD19陽性のB細胞性急性リンパ芽球性白血病（B-ALL）」「びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）」を適応として、国内でCAR-T細胞療法として初めて、厚生労働省より製造販売承認を取得しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円未満切捨て)

セグメントの名称		2019年3月期 第2四半期連結累計期間	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	987,778	1,070,915	8.4
	営業利益	7,016	12,476	77.8
医薬品製造事業	売上高	24,029	22,716	△5.5
	営業利益	921	973	5.6
保険薬局事業	売上高	46,070	48,013	4.2
	営業利益	347	629	80.8
医療関連サービス等事業	売上高	28,747	47,573	65.5
	営業利益	658	722	9.8

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

医療用医薬品市場は、C型肝炎治療剤の販売減少や後発医薬品使用促進の影響があったものの、抗悪性腫瘍剤の市場拡大やスペシャリティ医薬品等の新薬の寄与、消費税増税に伴う駆け込み需要などにより、伸長したものと推測しております。

そのようななか、売上高は、市場伸長に加えて、主にスペシャリティ医薬品をはじめとする新薬の販売増加や個々のお得意さまのニーズにお応えする活動に継続して取組んだことなどにより増収となりました。

営業利益は、増収効果および厚生労働省により策定された「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」を踏まえ、引続き個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉を徹底したことなどにより増益となりました。

これらの結果、売上高は1兆709億15百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は124億76百万円（前年同期比77.8%増）となりました。

(医薬品製造事業)

売上高は、新製品である2型糖尿病治療剤「メトアナ配合錠」の早期売上最大化に向け取組むとともに、DPP-4阻害剤「スイニー錠」や高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」などを中心に販売促進に努めたものの、前年同期に研究開発売上があったこと、および糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の特許切れに伴う後発医薬品の影響などにより減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努め、増益となりました。

これらの結果、売上高は227億16百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は9億73百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、薬局のかかりつけ機能強化の取組みによる技術料収入の増加などにより、増収となりました。

営業利益は、増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は480億13百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は6億29百万円（前年同期比80.8%増）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、メーカー支援サービス事業（医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託）の受託が増加したことや、介護事業において利用者が増加したことなどにより増収となりました。

営業利益は、介護事業における増収効果などにより増益となりました。

これらの結果、売上高は475億73百万円（前年同期比65.5%増）、営業利益は7億22百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ762億37百万円減少し1兆1,130億1百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ722億41百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が185億44百万円増加したものの、前連結会計年度の末日が休日だった影響等により現金及び預金が799億23百万円、有価証券が44億12百万円および商品及び製品が58億66百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ39億95百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が15億24百万円増加したものの、無形固定資産が13億3百万円、投資その他の資産が42億15百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ822億39百万円減少し7,053億74百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が770億43百万円、未払法人税等が41億19百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ60億2百万円増加し4,076億27百万円となりました。これは主に、剰余金の配当の支払が38億33百万円、その他有価証券評価差額金の減少が34億34百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を131億98百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	212,579	132,655
受取手形及び売掛金	500,943	519,487
有価証券	52,304	47,892
商品及び製品	140,691	134,824
仕掛品	2,250	2,336
原材料及び貯蔵品	3,214	3,354
その他	26,581	25,646
貸倒引当金	△1,356	△1,230
流動資産合計	937,208	864,966
固定資産		
有形固定資産	116,776	118,300
無形固定資産		
のれん	850	594
その他	12,778	11,731
無形固定資産合計	13,629	12,325
投資その他の資産		
投資有価証券	88,975	84,397
その他	33,545	33,933
貸倒引当金	△896	△921
投資その他の資産合計	121,624	117,409
固定資産合計	252,030	248,035
資産合計	1,189,238	1,113,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	730,656	653,613
短期借入金	56	32
未払法人税等	10,441	6,321
返品調整引当金	541	507
賞与引当金	7,622	7,781
その他	12,487	12,581
流動負債合計	761,806	680,837
固定負債		
役員退職慰労引当金	382	264
退職給付に係る負債	3,116	3,139
その他	22,308	21,132
固定負債合計	25,807	24,536
負債合計	787,613	705,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	39,083	39,133
利益剰余金	364,783	374,149
自己株式	△47,565	△47,490
株主資本合計	369,847	379,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,097	32,662
土地再評価差額金	△5,821	△5,821
為替換算調整勘定	80	△36
退職給付に係る調整累計額	570	606
その他の包括利益累計額合計	30,926	27,410
非支配株主持分	850	877
純資産合計	401,625	407,627
負債純資産合計	1,189,238	1,113,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,031,762	1,114,261
売上原価	941,870	1,018,590
売上総利益	89,891	95,671
返品調整引当金戻入額	524	541
返品調整引当金繰入額	497	507
差引売上総利益	89,918	95,706
販売費及び一般管理費	80,638	80,711
営業利益	9,280	14,995
営業外収益		
受取利息	163	119
受取配当金	780	751
受入情報収入	2,775	2,948
その他	1,050	1,017
営業外収益合計	4,770	4,836
営業外費用		
支払利息	27	27
不動産賃貸費用	118	111
その他	130	139
営業外費用合計	277	277
経常利益	13,773	19,554
特別利益		
固定資産売却益	265	7
退職給付制度移行益	232	—
中途解約違約金	—	55
その他	19	1
特別利益合計	517	64
特別損失		
固定資産除売却損	169	78
災害による損失	50	—
その他	12	24
特別損失合計	232	103
税金等調整前四半期純利益	14,058	19,515
法人税等	4,747	6,283
四半期純利益	9,311	13,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,225	13,198

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	9,311	13,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,031	△3,434
為替換算調整勘定	△3	△1
退職給付に係る調整額	△59	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△132	△115
その他の包括利益合計	12,834	△3,515
四半期包括利益	22,146	9,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,060	9,682
非支配株主に係る四半期包括利益	85	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,058	19,515
減価償却費	5,287	5,231
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△156	△100
その他の引当金の増減額(△は減少)	△662	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△756	△522
受取利息及び受取配当金	△944	△871
支払利息	27	27
固定資産除売却損益(△は益)	△95	71
退職給付制度移行損益(△は益)	△232	—
災害による損失	50	—
売上債権の増減額(△は増加)	31,118	△18,521
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74	5,649
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,284	△77,062
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,618	1,184
その他	113	529
小計	24,830	△64,866
利息及び配当金の受取額	1,221	1,103
利息の支払額	△27	△27
災害による損失の支払額	△6	—
法人税等の支払額	△9,255	△10,019
法人税等の還付額	19	172
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,779	△73,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,802	△786
定期預金の払戻による収入	5,988	786
有価証券の取得による支出	△17,500	△15,000
有価証券の売却及び償還による収入	14,100	19,900
有形固定資産の取得による支出	△2,290	△4,517
有形固定資産の売却による収入	701	23
無形固定資産の取得による支出	△1,668	△1,846
投資有価証券の取得による支出	△1,048	△356
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	1
その他	288	151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,230	△1,644

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△20
長期借入金の返済による支出	△80	△4
リース債務の返済による支出	△278	△283
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△3,502	△3,832
非支配株主への配当金の支払額	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,865	△4,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,669	△79,424
現金及び現金同等物の期首残高	200,609	217,025
現金及び現金同等物の四半期末残高	202,278	137,601

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	962,903	8,617	46,061	14,180	1,031,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,874	15,412	9	14,566	54,862
計	987,778	24,029	46,070	28,747	1,086,625
セグメント利益	7,016	921	347	658	8,945

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,945
セグメント間取引消去	334
四半期連結損益計算書の営業利益	9,280

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,044,026	7,233	48,003	14,998	1,114,261
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,889	15,482	9	32,575	74,957
計	1,070,915	22,716	48,013	47,573	1,189,219
セグメント利益	12,476	973	629	722	14,801

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,801
セグメント間取引消去	193
四半期連結損益計算書の営業利益	14,995

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、本日(2019年11月6日)開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、下記の通り自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行のため。

2 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 1,800,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.97%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 100億円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2019年11月7日から2020年3月24日まで |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付け |